

有志舎の新刊です。2014年1月下旬発売

# 仁政イデオロギーとアイヌ統治

檜皮瑞樹（ひわみずき） 著

A5判・ハードカバー・280ページ 本体価格 5,800円

「華夷主義」から「同化主義」へ

19世紀における、蝦夷地・アイヌ統治政策と仁政イデオロギーとの関係を明らかにする。

(目次)

序章	
第一章	統治への序奏—安政元年蝦夷地調査—
第二章	蝦夷地の再直轄—移植民政政策とアイヌ統治—
第三章	復興イデオロギーと蝦夷地—地方巧者と報徳仕法—
第四章	アイヌ統治政策への倒錯した批判—松浦武四郎と『近世蝦夷人物誌』—
第五章	アイヌをめぐる支配の動揺—トコンベ出奔事件—
第六章	「国境」の発見と領土交渉—春内幕吏捕囚事件と小出秀実—
第七章	アイヌ統治・アイヌ観の変—アイヌ墳墓盗掘事件—
第八章	開拓使のアイヌ統治政策と暴力—樺太アイヌ対雁強制移住政策を中心に—
補論	新たな周縁の再生産—笹森儀助の行動と思想—
終章	

<著者紹介> 1973年生まれ、早稲田大学大学史資料センター助教

～版元から～

19世紀の日本社会は、幕藩体制の崩壊と国民国家・近代社会の創出という大きな変動を経験しました。この間、ロシア使節の来航によって国境問題が生じたことから蝦夷地は幕府直轄領とされ、その後に明治維新を迎えたことで、アイヌの人々は否応なく幕藩体制と近代国家へと組み入れられたのです。本書は、仁政イデオロギーの波及や華夷意識の変容をキーワードに19世紀におけるアイヌ統治政策を分析し、異民族支配を可能にした統治イデオロギーや近世的世界観の変容を明らかにしていきます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル 403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	仁政イデオロギーとアイヌ統治 檜皮瑞樹 著	日本史 (近世・近代)
	ご担当	A5判・ハードカバー、280ページ 本体価格 5,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN978-4-903426-80-8 C3021	

ご注文は 有志舎 担当：永滝（ナガタキ）まで FAX：03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信いただければ結構です。